

## ライブトーク「新聞のチカラ—女たちの葛藤～はじまりは、新聞！葛藤から活動へ」

### ■ここに共感！

- ・ 新聞記事からライブトークになったのはすごい☆
- ・ タイトルそのものに共感です。
- ・ それぞれの立場で疎外感を感じて、会社をやめざるえないことに、やむをえない状況になりそのことがエネルギーとなり、次につながっているのがすごいなあと。
- ・ みんな少なからずそれぞれ葛藤を持っている。
- ・ 全体的に共感しました。
- ・ 森智香子さんの「どうしてこんなに居心地が悪いんだろう・・・」私も！！と思いました。同じ思いをしている女性がたくさんいると気づきました。
- ・ 結婚・出産を考えると実際に働きづらさを感じるがよくあります。友人でも妊娠がわかって会社を辞めざるをえなくなってしまった子が何人か・・・。
- ・ 残業当たり前だった。一人前＝男並みだった。困って育休から復帰した時から謝ってばかりだった。
- ・ 残業があたりまえの職場で残業ができないと、十分に評価されず自分の力も出せてないと感じる悔しさ。
- ・ 「声を上げなければ何も変わらない。」本当にそうです！！
- ・ 非正規職は同じ仕事をしているのに正職より低い賃金
- ・ ハケンにも退職金を
- ・ 松尾さんの記事に共感しました。私も、望んで非正規になった訳ではありません。ここから抜け出せないモヤモヤがあり、心に響きました。
- ・ 松尾さん、派遣のままでいることで、どれだけ女の人の力を発揮させずにいるか—大損です！
- ・ 子どもが産まれてから、子育てと仕事が両立するなんてウソ！と思いました。自分ばかりが子育てするとは夢にも思っていなかった(家にいない人に子育てはできないので)ので、葛藤の連続でした。
- ・ 夫の長時間労働、残業、自分ひとりの子育て
- ・ 家族って何だろう
- ・ 「男女の役割などの「社会通念」は「思い込み」に過ぎないのかもしれない」ということ。(→この思い込みがかなりやっかいな気がしています)
- ・ 男女の役割意識の“思い込み”がいかに強いのか！
- ・ 結婚を機に退職して専業主婦に。主婦・子育てが女性の仕事と“思い込み”孤立感
- ・ “収入がなく罪悪感”。正社員からパートに変わり、その分家事を頑張らなくてはとってしまう。
- ・ 学校では男女差を感じたことがなかったのに・・・社会とのつながりが薄れていく不安
- ・ 「個人的なことは政治的なこと」自分だけの問題、自分が悪い・・・そんなことはない！私の悩みは皆の悩み、社会の悩み！
- ・ 個人的なことは政治的なこと
- ・ 第1子を出産後も仕事を続ける女性の割合が初めて5割を超えた、に驚いた。どういう職種の人が多いのですか？
- ・ 渋谷さんの「私が生きた時代より幸せに」。会社員で、所属する組織で初めて産休・育休を取得しました。マタハラありましたが、その度にクレーム申し立てをしてきました。後に続く女性たちのためと思いました。
- ・ 私が生きた時代より幸せに。
- ・ 私が生きた時代より私たちの娘の世代にはもっと生きやすく幸せな時代に！
- ・ 当事者意識みんな持って！に共感。要求しなくちゃ！！そして変えていこう。
- ・ やっぱ男社会 男の感覚ですべて行われている
- ・ 外部不経済
- ・ 変わらなきゃいけないのは企業と男！まさにその通り！
- ・ 変わるべきは男性、企業、それを支える政治
- ・ 政治が変わるべき 選挙のやり方を変える。

## ライブトーク「新聞のチカラ—女たちの葛藤～はじまりは、新聞！葛藤から活動へ」

### ■わたしも言いたい！

- ・ “働きすぎ”をやめよう！みんなで一齐にやめればできるのでは？
- ・ 「Me Too」ともっと声をあげていきたいと思いました。
- ・ 「変えてください」ではなく一緒に変えましょう、社会を！
- ・ オジサンのルールを変えよう！！
- ・ オッサンの社会つかれる！
- ・ 男の人はお金(家族)のために働いている訳ではないと思います。男社会の中でのステイタスを上げるためにやってるんじゃないかと思う。そうすると、ワークライフバランスって、なかなか難しいかも、って思ってしまう。
- ・ 家事は家ぞくみんなでシェアしよう。
- ・ 葛藤はあるけど活動ができない
- ・ 管理職になってみたものの、人の管理、数字の管理、かなり大変です・・・
- ・ キャリア、子育て、家族単位のつき合い、姓、いろんな壁がたくさんあります。
- ・ くたばれオヤジ！
- ・ 結婚や子育てを経験したことはないですが、将来的に子どもをうみ育ててみたい。でも、仕事でも自己実現したい。仕事で他の人に遅れをとりたくない。どんな働き方が可能なの？？と悩みます・・・
- ・ 健康な男性だけが適応できるような社会はそろそろやめたい。  
女性や家庭に犠牲を強いる社会はそろそろやめたい。
- ・ 子育てがエンターテインメント化している。
- ・ この記事をインターネットで公開してほしい！
- ・ 職場での結婚・出産後の選択肢が欲しいです。
- ・ 女性にももっと高い意識を持ってほしい！！
- ・ 女性の政治参加
- ・ 女性も男性もそこそこ働ける社会に！！
- ・ 正社員、アルバイト、パート、派遣、契約社員とそれぞれがあるが、どのようにして、働いているか、中味(仕事の仕方)も重要で、それぞれに大変で、責任のなすり合いだけはしたくない！！  
(正社員だからといって、仕事しているとは思えないので・・・)
- ・ 男女ともに働きやすい社会とは？
- ・ 男性陣へ いつまでも役職は続かず、ただの人になる自覚を持って
- ・ 長時間労働をなくさないとも何も解決しないのでは？
- ・ テレワークの導入を(性に合う人のみね)。
- ・ 働く女性や役職につく女性が多くなったとはいえ、まだ大多数の日本の女は保守的で、専業主婦志向が強いではありませんか？どうして日本がいまだに過労死や単身赴任があるのでしょうか。
- ・ まだまだ変わらない社会。もっと女性活躍を！
- ・ みんなが心地よい社会
- ・ 幼児期の子どもに母親として接していたいと考える人も多くいる。だれもが、働き続ける事をいうのではなく、「子育て期から戻ったら、きちんと元の職場に戻り、正職につけること」そうした環境が必要と考える
- ・ 私の若かった頃とはずいぶん変化しているけれど、世代をこえてつながりたい！！
- ・ 私も「思い込み」から脱出したい！！

## ライブトーク「新聞のチカラ—女たちの葛藤～はじまりは、新聞！葛藤から活動へ」

### ■あなたにとってフェミニズムとは？

- ・ “あなたはあなたのままで生きていいよ”というメッセージをくれた。迷える私はこのことばで救われました。
- ・ 「明日ではダメですか。どうしても今日ですか。」と今日始めて男性課長と戦ってみた。言いかえずぞ。
- ・ 「葛藤」の背景を知り、なぜ違和感を感じてしまうのか、答えを得、自分に何ができるか考えたい。
- ・ The personal is political. 渋谷さんに言われてハッ！！と気づきました。渋谷さんも過去にそうだったのですね！！
- ・ いろいろなことがあったけど女性で得をしたことも多い
- ・ 植え付けられた不当な呪詛から醒めて自分を取り戻すこと
- ・ 夫に伝える事がむづかしい事。昭和妻からの脱皮・・
- ・ 女の知性
- ・ 葛藤を活動に変え、私を仲間につなげてくれた力です。
- ・ 感じているのに言葉にうまくまとめられず歯がゆい思いです。
- ・ ことば あなたはどう思う？ said 笹本先生
- ・ 言葉を聞く機会はよくあるけれど、「結局、何なのだろう？」という感じです。
- ・ 知ってしまった 気づいてしまった あともどりできない
- ・ 自分のおかれたかっとうとか悩みとかに客観的な説明をしてくれるので、悩む中から、次の一手を考えることができるって感じです。
- ・ 自分もフェミニストだった。
- ・ 視野を広げてくれるもの。
- ・ 女性差別がこの社会にまだまだいっぱいある！ということを前提に、女性差別を含めた様々な差別や不平等に立ち向かっていく思想！
- ・ 女性だからとか男性だからとかではない、個を尊重する事を言う！！
- ・ ずっと取り組んでいきたいテーマであると共に、性差による差別がなくなり、今後不必要になってほしいテーマでもあります。
- ・ 生存闘争
- ・ 男女平等
- ・ 男性が近づかない
- ・ 初めてこういう会に参加させてもらいました。女性としてどうあるべきなのか、改めて考えたいと思いました。
- ・ フェミニズム＝自分構築主義と考えます。今一番、何だかワクワクするもの。  
上野先生、フェミニズムリサーチライブラリをしまもりは渋谷典子さんと作りたいです！
- ・ フェミニズムと言えるのか、わからないけど、お互いのたりないところをおぎなえられ(男・女というわけではないが)、より、いいもの(すばらしい！！)ができあがったらいいのではないかと。
- ・ 本当のところよくわかりません。
- ・ 皆が自然に生きられること
- ・ もやもやした気持ちが私だけの間だけではないことに気づき同じように感じている人とのつながりのための知恵
- ・ もやもやしたら、まずは行動に起こしてみること。
- ・ ライフワーク
- ・ 私らしくあるための手段